

旧岩崎中利活用

問

旧岩崎中学校を防災センターとして利活用しては

つぶやき

旧岩中は全町対象の避難所になると思うが…

答

現状、想定していない



質問者の動画が視聴できます。

しちのへ
七戸

ひとし
仁 議員



問 七戸議員

旧岩崎中学校を利活用する考えはあるのか。ないのであれば、防災センターとして活用すべきと考える。岩崎体育館やいわさき小学校、岩崎支所により一定の避難体制は確保されているが、旧校舎を※スフィア基準に基づく避難施設や備蓄拠点とすれば防災機能を強化できる。また、外観の劣化による景観上の課題もあることから、改善する考えは。

※スフィア基準：災害や紛争が起きた際に、被災者が人間としての尊厳を保って生活するために、人道支援活動で満たすべき最低限の国際基準。

答 町長

旧岩崎中学校は令和4年4月の統合に伴い使用を終了し、上水道や電気などの設備も停止している。昭和51年建築の鉄筋コンクリート3階建てで、延べ2,794㎡の規模がある。

避難施設については、改修を終えた岩崎地区体育館やいわさき小学校、岩崎支所、ふれあいと創造の館、地区集会所などが利用可能であり、分散避難による運営の難しさも想定される。また旧校舎を避難施設とする場合は、停止中の設備を平時から稼働させる

必要がある。

以上の状況から、避難所確保の重要性は認識しているが、近隣に複数の避難施設がある現状では、旧岩崎中学校を防災センターとして利活用することは想定していない。



▲旧岩崎中学校

防災行政無線

個別受信機を全戸に整備すべきでは

『全戸には想定していない。対応困難な世帯には設置していく』

問 七戸議員

防災行政無線は未だに聞き取りづらいとの声があり、スマホアプリでの確認手段はあ

るが、高齢者への配慮や町民の命を守る観点からも、防災行政無線等の戸別受信機を全戸に整備してはどうか。

答 町長

現行の防災行政情報伝達システムは令和3年4月から運用しており、庁舎外からも放送指令が可能で、屋外スピーカーを基本に一部住宅へは戸別受信機を設置している。人工音声の聞き取りづらさについては改善傾向にあるが、依然として音量に関する指摘はあるため、アプリ登録やテレホンダイヤルの活用を案内している。全世帯への戸別受信機整備は初期投資約2億円、通信料年1,200万円が見込まれ、更新時は町の一般財源負担となるため現時点では想定していないが、対応困難な世帯には戸別受信機を設置していく。



▲個別受信機